

消費税 減税を

物価高騰対策 **もっと** 前進へ



日本共産党

流山市議会議員

おだぎりたかし

物価高騰が相次ぐ中、暮らしや営業の厳しさも増しています。日本共産党流山市議団は、国会の取り組みとともに、市議会が開催される度に、必ず前進を提案。年末には緊急申し入れを行うなど、市民の声を市政に届けてきました。



昨年12月23日緊急申し入れする党市議団

水道料金減免 お米券配布が実現

物価高騰のなか、党市議団は水道料金の減免（2020（R2）年度）や、おこめ券配布（昨年第2回（6月議会））を提案してきました。昨年末に決定した国交付金が活用され、いよいよ流山市でも実現します。

また新年度では、小学校で一部無償化が実現します。国民の世論と運動の成果です。引き続き、暮らしと営業を守る政治の実現に力をあわせましょう。

国交付金をピンハネ!?



3月9日「R8年度流山市一般会計予算」特別委員会では、小田桐たかし市議の質疑で物価対策として国からの交付された公金が市によってピンハネされていたことも明らか...

市税等を財源に実施すべき「宅配ボックスの設置」、「生活困窮世帯中学生の塾代支給」、「協定結んだ事業者車両に貼る「防犯パトロール」ステッカー」、「防犯カメラ設置する自治会補

助」等に国交付金が使われていました。また、

国交付金を使用したことで不要となった市税等は財政調整積立基金の積立にも回していました。

おだぎり市議は、「井崎市長が流山市の物価高騰対策の前進にとって一番の障害」と厳しく指摘。暮らしと営業を守る取組みや福祉施策の拡充を求めました。